



## 2022年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年6月4日

上場会社名 ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社  
 コード番号 3657 URL <https://www.poletowin-pitcrew-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 鉄平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部长 (氏名) 山内 城治

TEL 03-5909-7911

四半期報告書提出予定日 2021年6月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年1月期第1四半期の連結業績(2021年2月1日～2021年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	8,015	26.6	830	36.9	857	31.7	530	38.3
2021年1月期第1四半期	6,332	4.6	606	20.1	651	6.9	383	7.4

(注) 包括利益 2022年1月期第1四半期 814百万円 (708.0%) 2021年1月期第1四半期 100百万円 (79.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第1四半期	14.00	
2021年1月期第1四半期	10.13	10.13

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第1四半期	20,453	15,997	78.2
2021年1月期	20,389	15,675	76.9

(参考) 自己資本 2022年1月期第1四半期 15,997百万円 2021年1月期 15,671百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期		0.00		13.00	13.00
2022年1月期					
2022年1月期(予想)		0.00		14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,426	16.4	1,388	8.8	1,359	7.8	791	12.5	20.74
通期	30,077	12.5	3,452	7.3	3,392	5.7	2,123	0.2	55.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期1Q	38,156,000 株	2021年1月期	38,156,000 株
期末自己株式数	2022年1月期1Q	269,802 株	2021年1月期	269,734 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年1月期1Q	37,886,265 株	2021年1月期1Q	37,850,053 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、国内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がありますが、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような経済状況のもと、当社グループの主要事業であるデバッグ・検証事業の関連市場においては、世界的な感染症拡大に伴う外出自粛により、ゲームソフト及びハード市場が拡大しております。一方、ネットサポート事業の関連市場においては、同様に、非対面型、非接触型サービスであるEコマース、キャッシュレス決済市場が拡大しております。また、感染症拡大は、学校における授業のオンライン化を促進させることになり、政府によるGIGAスクール構想の重要性も増しております。

当社グループにおいては、顧客企業の事業多角化や海外展開、業務プロセスの高度化や複雑化に伴い発生する業務のアウトソーシング事業者として、「人」によるチェック、テスト、モニタリングや審査等のサービスを提供しております。市場において新たなサービスが創出されることにより、デバッグ・検証事業及びネットサポート事業ともにビジネスチャンスにつながっております。当第1四半期連結累計期間においては、当社及び主要子会社の営業・管理部門を同一オフィスへ集約するため、2月に本社移転・増床を行いました。また、当社は経営効率化の観点から、3月に中間持株会社であるペイサー株式会社を吸収合併いたしました。ポールトゥウィン株式会社では、メディア・コンテンツ関連事業の拡大を図ることを目的として、2月に株式会社CRESTへゲームの難易度等のチューニング、開発サポートに関する事業を譲渡いたしました。株式会社キュービスト及び株式会社CRESTは、両社のメディア・コンテンツ事業分野におけるシナジーを向上させるために、4月に同一ビルへ本社移転・増床を行いました。国内拠点と海外10ヵ国18拠点の連携により、デバッグ、ローカライズ、音声収録、ゲーム開発・マーケティング支援、モニタリング、カスタマーサポート等の「ワンストップ・フルサービス」の提供をグローバルで推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,015,783千円（前年同期比26.6%増）、営業利益は830,261千円（同36.9%増）、経常利益は857,993千円（同31.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は530,478千円（同38.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① デバッグ・検証事業

当事業におきましては、国内外グループ会社の連携を図ることで、国内外ゲームソフトメーカーのグローバル展開サポートに努め、デバッグ、ローカライズ、カスタマーサポート（海外）、音声収録等のゲームソフトメーカー向けアウトソーシングサービスの受注を推進いたしました。株式会社クアーズでは、ノンゲーム市場における第三者検証サービスの受注が増加いたしました。また、ポールトゥウィン株式会社では政府のGIGAスクール構想に基づく学校ICT化サポート事業者として、タブレット端末のキッティングサービスを受注いたしました。株式会社CRESTでは、テレビ用アニメーション「セブナイツ レボリューション 英雄の継承者」を制作・幹事業務を行いました。なお、当第1四半期連結累計期間より米国現地法人1518 Studios, Inc. の業績が反映されております。この結果、デバッグ・検証事業の売上高は6,135,916千円（前年同期比29.4%増）、営業利益は649,467千円（同16.1%増）となりました。

#### ② ネットサポート事業

当事業におきましては、QRコード決済や仮想通貨等のフィンテック関連サービスにおける不正モニタリング、本人確認手続き、アンチマネーロンダリングや振る舞い検知サービスの受注が増加いたしました。デバッグ・検証事業との営業連携により、ゲーム市場向けのカスタマーサポートの受注も増加いたしました。また、ピットクルー株式会社では政府のGIGAスクール構想に基づく学校ICT化サポート事業者として、ICT環境整備の設計等のサービスを受注いたしました。この結果、ネットサポート事業の売上高は1,762,225千円（前年同期比16.2%増）、営業利益は184,996千円（同81.4%増）となりました。

#### ③ その他

Palabra株式会社において、今後の映像バリアフリー化時代を見据え、テレビ番組や映画のバリアフリー字幕や音声ガイド制作のサービスを提供しております。アイメイド株式会社において、医療機関で働く外国人人材のビザ取得や就学等、国内生活手続きをサポートするサービスを提供しております。当事業の売上高は117,642千円（前年同期比60.4%増）、営業利益は4,487千円（前年同期は52,302千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産は、前連結会計年度末に比べて703,437千円(4.1%)減少し、16,399,111千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が114,245千円増加したものの、現金及び預金が782,426千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて767,625千円(23.4%)増加し、4,054,402千円となりました。これは、主にのれんが584,839千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて64,187千円(0.3%)増加し、20,453,513千円となりました。

② 負債の部

流動負債は、前連結会計年度末に比べて271,469千円(6.1%)減少し、4,182,537千円となりました。これは、主に未払金が277,089千円増加したものの、未払法人税等が607,568千円、その他(前受金等)が119,808千円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13,255千円(5.1%)増加し、273,484千円となりました。これは、主に退職給付に係る負債が5,699千円、その他(債務保証損失引当金等)が6,536千円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて258,213千円(5.5%)減少し、4,456,022千円となりました。

③ 純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて322,401千円(2.1%)増加し、15,997,491千円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が37,957千円、為替換算調整勘定が270,681千円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、売上高、利益ともに概ね計画どおり推移しております。現時点においては、第2四半期以降については、概ね計画どおり業績推移するものと予測しており、2021年3月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,158,548	10,376,121
受取手形及び売掛金	4,504,541	4,618,786
商品及び製品	861	400
仕掛品	172,920	140,025
その他	1,308,165	1,309,746
貸倒引当金	△42,488	△45,969
流動資産合計	17,102,548	16,399,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	893,190	994,063
減価償却累計額	△544,376	△578,426
建物及び構築物（純額）	348,814	415,636
機械装置及び運搬具	23,081	23,324
減価償却累計額	△15,860	△16,360
機械装置及び運搬具（純額）	7,221	6,964
工具、器具及び備品	1,616,860	1,780,343
減価償却累計額	△1,294,048	△1,395,387
工具、器具及び備品（純額）	322,812	384,955
その他	15,306	10,441
有形固定資産合計	694,154	817,997
無形固定資産		
のれん	511,654	1,096,494
ソフトウェア	225,961	234,718
その他	202,538	202,576
無形固定資産合計	940,155	1,533,790
投資その他の資産		
投資有価証券	654,071	744,330
敷金及び保証金	751,910	715,200
繰延税金資産	195,008	199,237
その他	128,470	142,939
貸倒引当金	△76,994	△99,094
投資その他の資産合計	1,652,466	1,702,614
固定資産合計	3,286,776	4,054,402
資産合計	20,389,325	20,453,513

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	4,540	1,820
1年内返済予定の長期借入金	7,620	7,620
未払金	2,067,679	2,344,769
未払費用	216,301	307,154
未払法人税等	970,324	362,755
賞与引当金	56,339	147,024
その他	1,131,201	1,011,393
流動負債合計	4,454,007	4,182,537
固定負債		
長期借入金	34,365	32,711
退職給付に係る負債	96,572	102,272
繰延税金負債	31,950	34,624
その他	97,340	103,877
固定負債合計	260,228	273,484
負債合計	4,714,236	4,456,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,064	1,239,064
資本剰余金	2,379,899	2,379,899
利益剰余金	12,372,175	12,410,132
自己株式	△167,696	△167,784
株主資本合計	15,823,442	15,861,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,373	66,174
為替換算調整勘定	△200,676	70,005
その他の包括利益累計額合計	△152,303	136,179
非支配株主持分	3,950	—
純資産合計	15,675,089	15,997,491
負債純資産合計	20,389,325	20,453,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
売上高	6,332,309	8,015,783
売上原価	4,511,898	5,784,909
売上総利益	1,820,410	2,230,874
販売費及び一般管理費	1,214,150	1,400,612
営業利益	606,260	830,261
営業外収益		
為替差益	31,788	—
助成金収入	10,817	42,957
その他	4,981	4,399
営業外収益合計	47,587	47,356
営業外費用		
支払利息	502	268
為替差損	—	2,089
持分法による投資損失	—	12,780
その他	1,817	4,485
営業外費用合計	2,320	19,624
経常利益	651,527	857,993
特別損失		
固定資産除却損	—	15,125
特別損失合計	—	15,125
税金等調整前四半期純利益	651,527	842,868
法人税等	280,503	316,313
四半期純利益	371,024	526,554
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,555	△3,924
親会社株主に帰属する四半期純利益	383,579	530,478

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	371,024	526,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117,103	17,801
為替換算調整勘定	△153,155	251,244
持分法適用会社に対する持分相当額	—	18,615
その他の包括利益合計	△270,259	287,660
四半期包括利益	100,764	814,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,320	818,961
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,555	△4,746

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,742,525	1,516,453	6,258,978	73,331	6,332,309	—	6,332,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	44,273	44,273	—	44,273	△44,273	—
計	4,742,525	1,560,726	6,303,251	73,331	6,376,583	△44,273	6,332,309
セグメント利益 又は損失(△)	559,610	101,989	661,599	△52,302	609,297	△3,036	606,260

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業、医療関連人材紹介サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△3,036千円には、セグメント間取引消去171,890千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△174,927千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2021年2月1日 至 2021年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,135,916	1,762,225	7,898,141	117,642	8,015,783	—	8,015,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,961	39,438	42,400	—	42,400	△42,400	—
計	6,138,878	1,801,663	7,940,541	117,642	8,058,183	△42,400	8,015,783
セグメント利益 又は損失 (△)	649,467	184,996	834,464	4,487	838,951	△8,690	830,261

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業、医療関連人材紹介サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△8,690千円には、セグメント間取引消去221,069千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△229,759千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

デバッグ・検証事業において当社の連結子会社である1518 Studios, Inc.は、5518 Studios, Inc.の事業の全部を譲受けております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては626,880千円であります。なお、のれんは、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。